

《令和元年度における環境基本計画の進捗状況》

報告事項 1

施策指標については、順調に推移している指標を「○」、計画改訂時より改善している指標を「△」、計画改訂時より改善していない指標を「×」としました。

また、それらの施策指標の達成状況を基に、施策展開の方向ごとの進捗状況についても整理しました。

施策展開の方向ごとに、順調に推移している施策は「A」、計画改訂時より改善している施策は「B」、計画改訂時より改善していない施策は「C」としました。

令和元年度の実績では、34の施策指標のうち、順調に推移している指標は20指標（59%）、計画改訂時より改善している指標は11指標（32%）、計画改訂時より改善していない指標は3指標（9%）となりました。

これに基づく20の施策展開の方向ごとの進捗状況の評価については、順調に推移している施策は10（50%）、計画改訂時より改善している施策は10（50%）、計画改訂時より改善していない施策はありませんでした。

◇ 施策指標の進捗状況

埼玉県環境基本計画に設定した施策指標	34	
	H30年度	R1年度
○： 順調に推移している施策指標	22	20
△： 計画改訂時より改善している施策指標	9	11
×： 計画改訂時より改善していない施策指標	3	3
－： 数値結果が未確定等のため判定不能の施策指標	0	0

◇ 施策展開の方向ごとの評価

埼玉県環境基本計画に設定した施策展開の方向	20	
	H30年度	R1年度
A： 順調に推移している	12	10
B： 計画改訂時より改善している	7	10
C： 計画改訂時より改善していない	1	0
－： 数値結果が未確定等のため判定不能	0	0

I 新たなエネルギー社会の構築

1 新たなエネルギー社会の構築		A
H29新規	状況 <ul style="list-style-type: none"> ・固定価格買取制度開始(平成24年7月)以降、太陽光発電設備の設置数は増加しており、住宅用太陽光発電設備の設置基数は全国第2位となっている。 ・地域と共生する再生可能エネルギー発電や、災害に強い分散型エネルギーの導入拡大に向けた取組をさらに推進する。 	

2 地球温暖化対策の総合的推進		B												
H29見直	状況 <ul style="list-style-type: none"> ・県全体の温室効果ガスの排出量は目標値に到達していないが、減少傾向にある。目標設定型排出量取引制度の推進等により、更なる削減を図る。 ・次世代自動車の普及割合は増加しているが、目標値を下回った。事業者と連携した啓発等により普及の促進を図っていく。 ・エコドライブアドバイザーの認定者数は当該年度の目標値を達成し、エコドライブ普及の核となる人物が着実に養成されている。 													
	指標の達成状況 <table border="1"> <tr> <td>県全体の温室効果ガスの排出量</td> <td>万t-CO₂</td> <td>改訂時 H26年度</td> <td>最新値 H29年度</td> <td>当該年度目標値 H29年度</td> <td>目標値 R3年度</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td></td> <td>3,849</td> <td>3,726</td> <td>3,614</td> <td>3,363</td> </tr> </table>	県全体の温室効果ガスの排出量	万t-CO ₂	改訂時 H26年度	最新値 H29年度	当該年度目標値 H29年度	目標値 R3年度	△		3,849	3,726	3,614	3,363	
県全体の温室効果ガスの排出量	万t-CO ₂	改訂時 H26年度	最新値 H29年度	当該年度目標値 H29年度	目標値 R3年度									
△		3,849	3,726	3,614	3,363									
継続	指標の達成状況 <table border="1"> <tr> <td>次世代自動車の普及割合</td> <td>%</td> <td>改訂時 H26年度</td> <td>最新値 H30年度</td> <td>当該年度目標値 H30年度</td> <td>目標値 R3年度</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td></td> <td>11</td> <td>20.2</td> <td>25</td> <td>33</td> </tr> </table>	次世代自動車の普及割合	%	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度	△		11	20.2	25	33	
次世代自動車の普及割合	%	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度									
△		11	20.2	25	33									
継続	指標の達成状況 <table border="1"> <tr> <td>エコドライブアドバイザーの認定者数</td> <td>人</td> <td>改訂時 H27年度</td> <td>最新値 R1年度</td> <td>当該年度目標値 R1年度</td> <td>目標値 R3年度</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>9,907</td> <td>24,198</td> <td>15,800</td> <td>18,750</td> </tr> </table>	エコドライブアドバイザーの認定者数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度	○		9,907	24,198	15,800	18,750	
エコドライブアドバイザーの認定者数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度									
○		9,907	24,198	15,800	18,750									

3 ヒートアイランド対策の推進		B												
H29見直	状況 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な緑の創出面積は当該年度の目標値を達成した。今後は小規模な敷地面積(1,000m²以上3,000m²未満)においても確実に緑化を行ってもらうため、緑化計画届出制度の周知徹底を図る。 ・次世代自動車の普及割合は増加しているが、目標値を下回ったため、事業者と連携した啓発等により普及の促進を図っていく。 													
	指標の達成状況 <table border="1"> <tr> <td>身近な緑の創出面積</td> <td>ha</td> <td>改訂時 H28年度</td> <td>最新値 R1年度</td> <td>当該年度目標値 R1年度</td> <td>目標値 H29~R3年度累計</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td>-</td> <td>227.2</td> <td>150</td> <td>250</td> </tr> </table>	身近な緑の創出面積	ha	改訂時 H28年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 H29~R3年度累計	○		-	227.2	150	250	
身近な緑の創出面積	ha	改訂時 H28年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 H29~R3年度累計									
○		-	227.2	150	250									
継続	指標の達成状況 <table border="1"> <tr> <td>【再掲】 次世代自動車の普及割合</td> <td>%</td> <td>改訂時 H26年度</td> <td>最新値 H30年度</td> <td>当該年度目標値 H30年度</td> <td>目標値 R3年度</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td></td> <td>11</td> <td>20.2</td> <td>25</td> <td>33</td> </tr> </table>	【再掲】 次世代自動車の普及割合	%	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度	△		11	20.2	25	33	
【再掲】 次世代自動車の普及割合	%	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度									
△		11	20.2	25	33									

Ⅱ 限りある資源を大切に作る循環型社会づくり

4 廃棄物の減量化・循環利用の推進						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量は順調に推移しており、今後も循環型社会づくりの意識形成・活動促進を行っていく。 産業廃棄物の最終処分量は、東日本大震災後埼玉県内の下水汚泥が再利用されず最終処分されたことにより増加傾向にあった。しかし、平成26年度以降は減少に転じている。 					
指標の達成状況	一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量	g/人・日	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度
○			47	34	45	43
指標の達成状況	産業廃棄物の最終処分量	千t	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度
○			192	159	180	172
指標の達成状況	県や市町村が行う3R講座の受講者数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			6,617	10,264	6,900	7,000

継続

H29見直

H29見直

5 廃棄物の適正処理の推進						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェスト普及率は当該年度の目標値を達成した。引き続きイベント等でのPRや実際の操作を通じた講習会により導入企業の増加を目指す。 高濃度PCB廃棄物の処分量は、当該年度の目標値を達成し、順調に推移している。 					
指標の達成状況	電子マニフェストの普及率	%	改訂時 H26年度	最新値 H30年度	当該年度目標値 H30年度	目標値 R3年度
○			49.7	61.5	57.0	62.6
指標の達成状況	高濃度PCB廃棄物の処分量	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			11.6	86.6	49.3	89.9

H29新規

H29新規

6 水環境の健全化と地盤環境の保全						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> 5年間の累積沈下量が4cm未満の地盤観測基準点の割合の進捗状況は、当該年度の目標値をわずかに下回った(H30年度は99.5%)。 引き続き、埼玉県生活環境保全条例に基づき、地下水の採取を規制し、地下水の過剰な採取による地盤沈下を防止する。 					
指標の達成状況	1年間の地盤沈下量が2cm以上の地域の面積	km ²	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			0	0	0	0
指標の達成状況	5年間の累積沈下量が4cm未満の地盤観測基準点の割合(平成23年度を除く)	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
×			99.8	99.6	99.9	100

H29新規

継続

Ⅲ 恵み豊かなみどりや川に彩られ、生物の多様性に富んだ自然共生社会づくり

7 川の保全と再生						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アユが棲める水質の河川の割合については、当該年度の目標値を上回った。 ・全国水質ワースト5河川にランクインしている綾瀬川、中川も、水質は計画策定時からは改善傾向で推移している(綾瀬川のBOD:H22年度3.7→R1年度2.6、中川のBOD:H22年度3.1→R1年度2.4)。現在では環境基準(BOD:5)及び上記の「アユが棲める水質」(BOD:3)のいずれも下回っている。引き続き、生活排水対策や河川流量の確保が重要である。 ・生活排水処理率については改善しているが、当該年度の目標値には達していない。このため下水道等生活排水処理施設の整備を進めるほか、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換を進めるため、補助金制度を見直し、転換の促進を図った。 ・川の再生への県民参加の指標である「川の国広援団への支援件数」は、目標に到達しなかった。 					
指標の達成状況	アユが棲める水質の河川の割合	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
継続	○		89	93	91	93
指標の達成状況	全国水質ワースト5河川 (国土交通省直轄管理区間)	—	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
継続	×		綾瀬川、中川	綾瀬川(BOD 2.6) 中川 (BOD 2.4)	綾瀬川、中川	該当河川なし
指標の達成状況	生活排水処理率	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
継続	△		90.6	92.8	94.5	96.4
指標の達成状況	川の国広援団への支援件数	件	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
H29新規	×		213	171	270	300

8 みどりの保全と再生						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の保全面積については、特別緑地保全地区の指定等は市町村との調整や地権者等との合意形成に時間を要するため、当該年度の目標値を下回った。 ・身近な緑の創出面積は当該年度の目標値を達成した。今後は小規模な敷地面積(1,000m²以上3,000m²未満)においても確実に緑化を行ってもらうため、緑化計画届出制度の周知徹底を図る。 ・みどりのサポーターズクラブ入会団体数は当該年度の目標値を達成した。引き続き、団体・企業・個人が緑化活動に取り組めるよう、ニーズを踏まえた支援を行っていく。 					
指標の達成状況	緑の保全面積	ha	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
△			531	547.6	551	557
指標の達成状況	【再掲】 身近な緑の創出面積	ha	改訂時 H28年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 H29～R3年度累計
H29見直 ○			-	227.2	150	250
指標の達成状況	彩の国みどりのサポーターズクラブ 入会団体数	団体	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
継続 ○			233	465	290	310

9 森林の整備と保全						B	
<p>状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備面積は当該年度の目標値の86%となっている。林業の採算性の悪化により低迷しているが、目標の達成に向け、みどりの基金等を活用し、森林の間伐や里山・平地林の整備等を行う。 ・森林ボランティア活動に参加した人数は目標値を達成した。 ・県産木材供給量は当該年度の目標値の92%となっている。令和元年の台風19号による災害の影響で木材供給量が目標に達しなかった。目標の達成に向け、森林組合等を支援して、皆伐・再造林を促進する。 ・作業道の延長は当該年度の目標値の89%となっている。目標の達成に向け、森林組合等への施業団地の確保に向けた指導・助言、零細事業者への技術者育成支援等を行う。 							
H29見直し	指標の達成状況	森林の整備面積	ha	改訂時 H28年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 H29～R3年度累計
	△			-	6,434	7,500	12,500
H29見直し	指標の達成状況	森林ボランティア活動に参加する 延べ人数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	○			25,500	27,900	27,500	28,500
継続	指標の達成状況	県産木材の供給量	m ³ /年	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	△			87,000	97,000	106,000	116,000
H29新規	指標の達成状況	作業道の延長	km	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	△			471	656	740	860

10 生物多様性の保全						A	
<p>状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希少野生動植物種の保護増殖箇所数については、地域ボランティア団体や学校等との連携の強化により当該年度の目標値を達成した。 ・県内の豊かな生態系を次世代へ継承できるよう、今後も関係者と連携しながら、生物多様性保全の一環として希少種の保護対策を進めていく。 							
継続	指標の達成状況	希少野生動植物種の保護増殖箇所数	箇所	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	○			88	144	108	120

IV 安心・安全な環境保全型社会づくり

1.1 大気環境の保全 A

H29見直

状況	PM2.5の濃度は当該年度の目標値を達成した。引き続き、大気移動測定車等による実態調査、VOC等の規制対象事業者に対する排出抑制の徹底、事業者の自主的な取組支援等を実施する。					
指標の達成状況	微小粒子状物質(PM2.5)の濃度	μg/m ³	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			13.6	10.5	12.5	12.0

1.2 公共用水域・地下水及び土壌の汚染防止 B

継続

状況	アユが棲める水質の河川の割合については、当該年度の目標値を上回った。 全国水質ワースト5河川にランクインしている綾瀬川、中川も、水質は計画策定時から改善傾向で推移している(綾瀬川のBOD:H22年度3.7→R1年度2.6、中川のBOD:H22年度3.1→R1年度2.4)。現在では環境基準(BOD:5)及び上記の「アユが棲める水質」(BOD:3)のいずれも下回っている。引き続き、生活排水対策や河川流量の確保が重要である。					
指標の達成状況	【再掲】 アユが棲める水質の河川の割合	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			89	93	90	93
指標の達成状況	【再掲】 全国水質ワースト5河川 (国土交通省直轄管理区間)	—	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
×			綾瀬川、中川	綾瀬川(BOD 2.6) 中川(BOD 2.4)	—	該当河川なし

継続

1.3 化学物質・放射性物質対策の推進 A

継続

状況	環境コミュニケーション実施数は、当該年度の目標値を達成した。化学物質への県民の理解を深めるため、企業による環境コミュニケーションの拡大に向け、企業訪問による働きかけや、研修会の開催等を通じた事業者の支援を行っていく。 環境大気中の石綿濃度1本/L以下の維持も当該年度の目標値を達成した。今後も、石綿使用建築物の届出解体工事等に対する立入検査等により、適切な石綿飛散防止措置の徹底を図る。					
指標の達成状況	環境コミュニケーション実施数	回	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			210	360	299	344
指標の達成状況	環境大気中の石綿濃度1本/L以下の維持	地点	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			全地点(20地点)	全地点(20地点)	全地点(20地点)	全地点(20地点)

H29見直

1 4 身近な生活環境の保全					B	
状況	・事業所における公害防止体制の整備には、公害防止管理者や公害防止主任者の公害防止に関するレベルを一段と向上させる必要がある。そのため、公害防止管理者・主任者向けフォローアップ研修を推進している。 ・当該年度の目標値をわずかに下回ったが、今後も事業者による環境情報の不適正処理の未然防止を図るため研修を実施する。					
指標の達成状況	公害防止管理者・主任者向けフォローアップ研修の参加者数	人	改訂時 H28年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 H29～R3年度累計
△			-	1,339	1,440	2,400

継続

1 5 環境分野の災害への備えの推進					A	
状況	・大規模災害対策を組み込んだ特定化学物質適正管理手順書の提出率は当該年度の目標値を達成し、順調に推移している。今後も未提出企業に対して手順書の作成及び提出の指導を継続するとともに、企業へ特定化学物質の適正管理についての研修を行っていく。					
指標の達成状況	大規模災害対策を組み込んだ特定化学物質適正管理手順書の提出率	%	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			1.2	94.1	70	100

H29新規

V 環境の保全・創造に向けて各主体が取り組む協働社会づくり

1.6 環境と経済発展の好循環の創出						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境ビジネス関連セミナーの参加企業数については、当該年度の目標値を達成した。 今後も、環境と経済の好循環を形成するため、各種情報提供やネットワークづくりを支援していくことが重要である。また、事業者の自主的な環境負荷軽減に向けた取組を推進していく必要がある。 					
指標の達成状況	環境ビジネス関連セミナーの参加企業数	社	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			713	1014	904	1000

継続

1.7 環境と共生する地域づくりの推進						A
状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動団体の登録数については、当該年度の目標値を達成した。 今後も包括連携協定企業や清掃活動を行っている団体等に対して登録の働きかけを続けていく。 					
指標の達成状況	地域清掃活動団体の登録数	団体	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			531	753	695	830

継続

1.8 連携・協働による取組の拡大						B
状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊の派遣回数は、順調に推移していたが、台風や新型コロナウイルス拡大の影響もあり、環境アドバイザーの派遣回数が減少し、目標の達成には至らなかった。 今後はオンラインでの環境学習の普及も含め、県民・市民団体・企業・行政・学校など、あらゆる主体が連携・協働した環境保全への取組を推進する。 希少野生動植物種の保護増殖箇所数については、地域ボランティア団体や学校等との連携の強化により当該年度の目標値を達成した。 県内の豊かな生態系を次世代へ継承できるよう、今後も関係者と連携しながら、生物多様性保全の一環として希少種の保護対策を進めていく。 みどりのサポーターズクラブ入会団体数は当該年度の目標値を達成した。引き続き団体・企業・個人が緑化活動に取り組めるよう、ニーズを踏まえた支援を行っていく。 					
指標の達成状況	環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊の派遣回数	回	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
△			237	274	280	300
指標の達成状況	【再掲】 希少野生動植物種の保護増殖箇所数	箇所	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			88	144	102	120
指標の達成状況	【再掲】 彩の国みどりのサポーターズクラブ 入会団体数	団体	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
○			233	465	290	310

継続

継続

継続

19 環境を守り育てる人材育成						A	
状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊による環境学習の参加人数は、順調に推移しており、当該年度の目標値を達成した。 環境科学国際センターでは、老朽化した展示館の展示物を計画的な修繕・更新、センターの設備、人材を活用した環境学習講座の開催等により、小中学校をはじめとして展示館の利用促進に取り組む。 エコドライブアドバイザーの認定者数は当該年度の目標値を達成し、エコドライブ普及の核となる人物が着実に養成されている。 						
H29新規	指標の達成状況	環境アドバイザー、環境教育アシスタント、環境学習応援隊による環境学習の参加人数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	○			19,276	19,993	19,700	20,000
継続	指標の達成状況	環境科学国際センター利用者数 (平成12年度からの累計)	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	○			761,742	957,100	942,000	1,032,000
継続	指標の達成状況	【再掲】 エコドライブアドバイザーの認定者数	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	○			9,907	24,198	15,800	18,750

20 環境科学・技術の振興と国際協力の推進						B	
状況	<ul style="list-style-type: none"> 2つの指標については、それぞれわずかに当該年度の目標値を下回った。 引き続き、関係機関との共同研究を進め、各種調査や研究による環境科学の振興に積極的に取り組むとともに、国際的な連携を進め、国際貢献を積極的に果たしていく。 						
継続	指標の達成状況	環境科学国際センターの共同研究数 (平成12年度からの累計)	テーマ	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	△			446	574	600	680
H29見直	指標の達成状況	環境分野における海外との交流者数 (平成12年度からの累計)	人	改訂時 H27年度	最新値 R1年度	当該年度目標値 R1年度	目標値 R3年度
	△			806	1,045	1,140	1,300